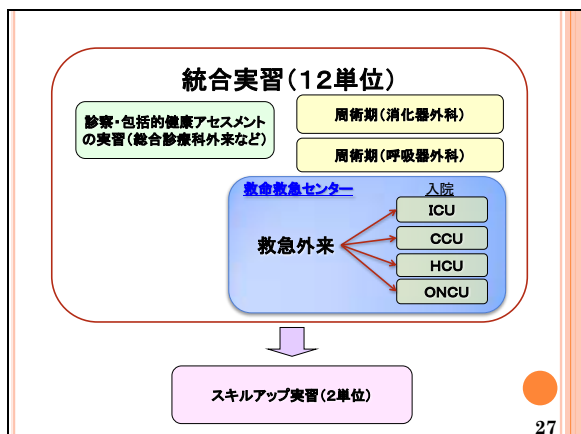


7. 実習

(東京医療保健大学大学院資料)



(大分県立看護科学大学大学院資料)

特定看護師(仮称)の実習(14単位)	
・ 一般病院(8週間)	社会医療法人 大分岡病院 財団法人厚生年金事業振興団 湯布院厚生年金病院 医療法人小寺会 佐伯中央病院 大分県厚生連 別府鶴見病院
・ クリニック(3週間)	社会医療法人財団天心堂 へつぎ診療所 社会医療法人財団天心堂 おおの診療所
・ 介護老人保健施設(3週間)	医療法人 至誠会 健寿荘 社会医療法人財団天心堂 陽光苑

(日本看護協会資料：皮膚・排泄ケア)

養成調査試行事業 実施課程の教育内容 実習		
実施課程 2単位 90時間	目的：創傷の重症化を防ぎ、早期に治癒を促進させる 行方の実施に必要な評価や実施能力を身につける。 目標： 1) 褥瘡や下肢潰瘍の創など様々の創傷を有している患者の問題を医療機器や検査を用いて、アセスメントできる 2) 褥瘡や下肢潰瘍の創など様々の創傷を有している患者の重症化を防ぎ、早期に治癒を促進させる創傷管理技術が実践できる 3) 褥瘡や下肢潰瘍の創など様々の創傷を有している患者や家族を対象に相談や教育的指導が行える	担当教官 医師2名 看護師1名
必修経路技術 アブロードマン 組合、切開 ドレナージ 臨任環境療法 超音波診断		
修了科目 (CN教育) 5単位 240時間	1. ストーマの造設に伴って生じる患者の身体的・精神的・社会的問題を的確に把握し、専門技術を用いて高い確率で創傷を管理できる。 2. 褥瘡や潰瘍、ドレーン挿入中の創などの様々の創傷を有している患者に対し、アセスメントを行い、専門的なスキンケアと創傷管理ができる。 3. 失禁のある患者に対して、個人の失禁状態に適した看護を提供できる。 4. 患者・家族・重要他者の相談に対し、的確に答えられる。 5. ストーマケア・スキンケアの質を高めるために患者・家族・重要他者は医療チームメンバーに対し、教育の原理・原則を応用し教育できる。 6. 患者の問題解決に向けて、他の医療チームメンバーと情報交換を行い、相談・調整できる。	看護師3名 臨床指導者 (認定看護師 各施設1名以上)

○(東京医療保健大学大学院の実習について) 統合実習は、医学の知識と看護の経験知等を統合する実習。最初に診察・包括的健康アセスメントの実習を総合診療科外来などで行い、診察・包括的健康アセスメントを実施できるようにする。その後に、周術期の患者を受けもち、その後に、救急外来からONCU(観察ナースング・ケア・ユニット)で約1日入院して様子を診る患者を受けもち、その後に、HCU、そしてCCU、ICUという形で実習を予定している。この実習では、患者の状況を包括的にアセスメント、必要な検査を

実習の進め方

- ①実習指導者打ち合わせ会(平成22年7月開催)
施設長および担当医師と打ち合わせ会
- ②学生1人に、1教員を実習担当教員として配置
実習の進捗状況の把握、特定看護師役割の指導、学生のメンタル面でのサポート等を行う
- ③学生の定期的な実習の振り返り
実習期間中2週に1日帰学日を設け、学生は担当教員と実習の振り返りを行いその後の実習にフィードバックさせる
- ④実習評価
・実習担当医がチェックシートを記載
・学生の自己評価表、担当教員の評価

(日本看護協会資料：救急)

養成調査試行事業 実施課程の教育内容 実習科目		
実施課程 2単位 90時間	目的：救急患者の診断プロセスや主要徴候を理解し、救命と重症化を防ぐための早期介入と安全な救命救急処置の実施につなげる能力を修得する。救急患者の治療の早期開始を確保するために、診断プロセスと治療を理解し実施につなげる。 目標： 1. 救急患者の診断プロセスが理解でき実践できる。 2. 救急医療現場において、病態に応じた迅速かつ的確なトリアージを実践できる。 3. 救急医療現場において、患者の病態を理解し、実在する問題のみならず、予測される問題も把握・判断して臨機応変にケアを計画し、実践できる。 4. 危機状況にある患者・家族の心理的問題を的確に把握し、支援できる。	医師2名
修了科目 (CN教育) 10単位 240時間	1. あらゆる状況下で、対象に応じた迅速で確実な救命技術・救急看護技術を実践できる。 2. 救急医療現場において、病態に応じた迅速かつ的確なトリアージを実践できる。 3. 救急医療現場において、患者の病態を理解し、実在する問題のみならず、予測される問題も把握・判断して臨機応変にケアを計画し、実践できる。 4. 危機状況にある患者・家族の心理的問題を的確に把握し、支援できる。	看護師2名 臨床指導者 (救急看護 認定看護師 各施設1名以上)

判断し、指示もしくは実施、医師の診断結果に基づき治療方法を選択し、その治療を実施できるようにする。また、診断治療に伴う生活指導、危機的状況への支援ができるようにも実習を行う予定としている。

○（大分県立看護科学大学大学院の実習について）一般病院（8週間）、クリニック（3週間）、介護老人保健施設（3週間）をローテーションしながら実習している。

○（大分県立看護科学大学大学院の実習について）実習では、形成外科医と一緒に褥瘡のデブリードメント、手術室での縫合も実施している。外来では、高血圧・糖尿病・COPD等の慢性疾患患者の診察、アセスメント、投与されている内服薬の継続投与が可能かどうかという判断をし、患者が退室後アドバイスをするという実習。継続投与可能かどうかの判断、脈拍検査、胸部レントゲンオーダと画像評価、心臓のエコー、腹部のエコーのオーダと施行、評価まで専門医と一緒に勉強する。初期診療においては、風邪、咳、腹痛等の患者の初期診療のアセスメント、必要な処置マネジメントを実習する。

○（兵庫県立大学大学院の実習について）将来活躍する場として訪問看護も視野に入れているため、実習の場所は、訪問看護ステーションもある。

○現場で実習しながら振り返りをするということが修士課程レベルの専門職のトレーニングで重要だと言われている。

○実習では、必ずその日の実習終了時に指導医が振り返りをして医療安全を図る。

8. 指導体制

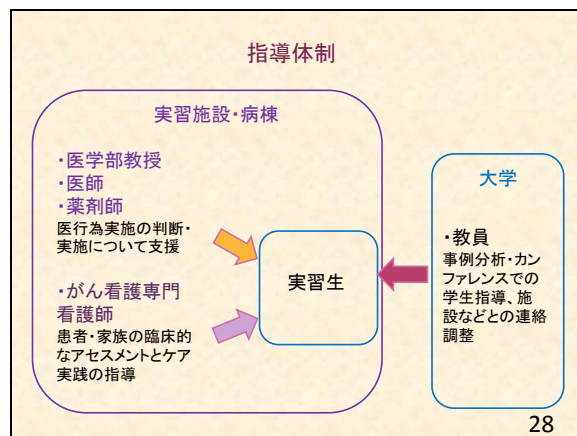
（東京医療保健大学大学院資料）

指導体制

- 臨床教授（医師）を中心とした指導体制
- 大学院担当教員は評価責任を担い、指導体制を調整
- 大学院カリキュラム検討委員会、教授会、臨床教授会を開催

29

（大阪府立大学大学院資料）



（大分県立看護科学大学大学院資料）

養成教育体制

- ・講義・演習のための非常勤講師（医師）
病態機能学特論、診察診断学、老年薬理学
演習、老年アセスメント演習
などの科目担当 **合計46名**
- ・実習のための非常勤講師（医師）
・大分岡病院、別府鶴見病院、湯布院厚生年金病院ほか **8施設 各1名の主指導医**

25

（日本看護協会資料：皮膚・排泄ケア）

本課程の指導体制

養成課程の指導体制
形成外科医を中心に講義・演習・実習の実地指導と評価
担当学科看護教員は講義・演習・実習の調整や総合的評価

- ・ **特定看護師（仮称）養成調査試行事業実行委員会**
：特定看護師（仮称）養成調査 試行事業実施課程の実施・評価に関する検討
医師6名、看護教員等7名（外部教員2名含む）で構成
◆ 全体会議 分野別会議

34

（日本看護協会資料：救急）

本課程の指導体制

養成課程の指導体制
・救急医を中心に講義・演習・実習の実地指導と評価
・担当学科看護教員は講義・演習・実習の調整や総合的評価

特定看護師（仮称）養成 調査試行事業実行委員会
・特定看護師（仮称）養成調査 試行事業実施課程の実施・評価に関する検討
・医師6名、看護教員等7名（外部教員2名含む）で構成
◆ 全体会議 分野別会議

58